

やまゆり・すずらん ユニット

天気の良い日は裏庭で日光浴。

時々様子を見ながら育てました。

のんびりしてます。

スタッフの子供が無事生まれました。

個性豊かな方々と、いつも賑やかで楽しく過ごせるような心がけています。今年百歳になられる方が居ます。施設が開設して初めて施設で百歳を迎えようとしています。今からお祝いをどうしようか計画している所で楽しみにしています。これからも沢山一緒にお祝いをする事が増えてくると思います。百年生きてこられた中で、この施設で出会えたことは縁です。ご家族様も含め、この縁を大切にしたいと考えています。

リーダー 中根芳昭

手作りのプレゼント。



みんなでクリスマスを楽しみました。



ラーメンバイキングに参加しました。



茨城空港に行きました。



誕生日プレゼントを頂きました。
季節を味わえる取り組みをしています。



犬が好きな方、洗濯を取込みたむことの好きな方、塗り絵や貼りたい事や楽しみにされているものを見極め合わせられるよう努めています。又、季節・天気・時間を感じられるよう施設の外に頻繁に散歩に出るなどユニットの中だけに居すぎないように工夫しています。入居者の普段の様子や活動の様子などを写真に残すことにも取り組んでいます。本人が見られるように飾ったり今後アルバム作成にも力を入れたいと考えています。面会時にでも見てください。

ユニットリーダー 前島泰我

れんげ・すみれ ユニット

れんげ・すみれのユニットリーダーです。

時々犬に癒されてます。

のんびり過ごしています。

作る時は豪快に作ります。

入居者優先に日々生活できることはもちろん、希望・要望を聞き、可能な限り応えてあげることができるよう努めています。出来る・出来ないだけでなく相手の話をよく聞き返事を返す事で安心して気軽に相談して頂けるような雰囲気を目指しています。又、「これはこの職員、あれはこの職員」など個々の職員の特徴や得意とすることを活かして支援できるような心がけています。家族との絆が途絶えないよう、家族と協働して入居者の生活を支援して頂けるよう今後も色々相談させていただきますので何でも

ユニットリーダー 郡司裕之

感問に来てくださり楽しめました。

デイサービス



個別リハビリや皆さんと体操をします。



到着後健康チェックします。



カラオケなどで楽しめます。



花壇の手入れありがとうございます。



食事の様子。



七夕の飾りつけ。



節分の様子。



クリスマスツリーの飾りつけ。

「おはようございます」元氣な挨拶をしながら三十名程の方々がゆったりとした空間の中でのんびりとご利用して頂いてます。デイサービスに来ることを生活の一部と考えて頂けていたら嬉しいです。介護保険の理念である「自立支援」、有する能力を活かして自立した質の高い生活をデイを通して支援していきます。一人一人を「大切に」「大切に思う」を忘れずに支援し続けていけるよう努めていきますのでよろしく願います。

管理者 渡辺千嘉子

栄養科

厨房での調理や配達の様子。

ラーメンバイキングを企画しました。

普段の食事の様子。

提供している食事やお弁当の一部です。

- H26年度の主な行事食や新メニュー
- 4月・春野菜の天ぷら ・たけのこご飯
 - 5月・端午の節句弁当（百里サンハウスにて）
 - 6月・ツナトマトスパ （新メニュー）
・焼うどん（新メニュー）
 - 7月・七夕そうめん ・いなり寿司
・夏野菜カレー（新メニュー）
・土用の丑の日
 - 8月・夏野菜の天ぷら
 - 9月・敬老会弁当（百里サンハウスにて）
・冷やしただぬきそば（新メニュー）
・チャーハン定食 ・ひつまぶし
 - 10月・栗ごはん ・おはぎ
・エビフライ定食
 - 11月・きのこごはん ・エビピラフ
 - 12月・ちらし寿司・ケーキ（クリスマス）
・クリスマス弁当（百里サンハウスにて）
・年越しそば
 - 1月・おせち料理 ・小豆粥
 - 2月・太巻き寿司（節分）
・鮭のホワイトソース（新メニュー）
 - 3月・ひな祭り弁当（百里サンハウスにて）

管理栄養士 河尾俊之

ほぼ満床の日々が続き、食事提供数も当初と比べ格段に増えました。食形態や趣向にも配慮が必要となります。必要以上の制限を設けず家庭生活の延長線を重視したいと考えていますので、多職種連携に取り組み食の管理をしています。刺身・寿司・酒・スーパ―の惣菜・目の前で作る手料理・家族の差入など「食のマンネリ」にならず入居者が満足して食べる意欲を失わないよう今後も務めて参ります。食時・栄養・アレルギーなど食に関するご相談をお気軽に声をかけてください。

当法人の運営につきましては、日頃より皆様方のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。平成二十六年法人の決算報告書をお知らせいたします。

平成26年度 社会福祉法人武仁会 決算報告

貸借対照表(総括表)
平成27年3月31日現在

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産		負債	
流動資産	430,621,626	流動負債	22,304,683
固定資産	2,168,980,349	固定負債	14,953,520
基本財産	1,933,049,522	負債の部合計	37,258,203
その他の固定資産	235,930,827	純資産の部	
		基本金	483,532,057
		国庫補助金特別積立金	559,453,728
		次期繰越活動収支差額	1,519,357,987
		(うち当期活動増減差額)	71,095,692
		純資産の部合計	2,562,343,772
資産の部合計	2,599,601,975	負債及び純資産の部合計	2,599,601,975

資金収支計算書

(自)平成26年4月1日～(至)平成27年3月31日

勘定科目	金額
収入	
介護保険事業収入	817,018,141
経常経費寄附金収入	30,000
受取利息配当金収入	41,982
その他の収入	11,308,468
事業活動収入計①	828,398,591
支出	
人件費支出	429,333,718
事業費支出	154,029,494
事務費支出	102,118,268
その他の支出	1,888,766
事業活動支出計②	687,370,246
事業活動資金収支差額③(①-②)	141,028,345
収入	
施設整備等補助金収入	0
施設整備等収入計④	0
固定資産取得支出	29,356,540
施設整備等支出計⑤	29,356,540
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	△ 29,356,540
収入	
積立預金取崩収入	0
その他の活動による収入	496,816
その他の活動収入計⑦	496,816
積立資産支出	1,114,920
その他の活動による支出	0
その他の活動支出計⑧	1,114,920
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	△ 618,104
予備費支出⑩	
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨+⑩)	111,053,701
前期末支払資金残高⑫	297,263,242
当期末支払資金残高⑬(⑫+⑪)	408,316,943

事業活動計算書

(自)平成26年4月1日～(至)平成27年3月31日

勘定科目	当年度決算
収入	
介護保険事業収益	817,009,233
経常経費寄附金収益	30,000
その他の収益	
サービス活動収益計①	817,039,233
費用	
人件費	430,448,638
事業費	154,029,494
事務費	102,118,268
減価償却費	120,842,629
△国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 39,975,575
その他の費用	
サービス活動増減差額②(①-②)	767,463,454
サービス活動増減差額③(①-②)	49,575,779
受取利息配当金収益	41,982
その他のサービス活動外収益	23,366,718
サービス活動外収益計④	23,408,700
その他のサービス活動外費用	1,888,766
サービス活動外費用計⑤	1,888,766
サービス活動増減差額⑥(④-⑤)	21,519,934
経常増減差額⑦(③+⑥)	71,095,713
収入	
施設整備等補助金収益	
固定資産売却益	
その他の特別収益	0
特別収益計⑧	0
支出	
△国庫補助金等特別積立金取崩額	21
国庫補助金等特別積立金積立額	
その他の特別損失	0
特別支出計⑨	21
特別増減差額⑩(⑧-⑨)	△ 21
当期活動増減差額⑪(⑦+⑩)	71,095,692
前期繰越活動増減差額⑫	1,448,262,295
当期末繰越活動増減差額⑬(⑪+⑫)	1,519,357,987
基本金取崩額⑭	0
その他の積立金取崩額⑮	0
その他の積立金積立額⑯	0
次期繰越活動増減差額⑰(⑬+⑭+⑮+⑯)	1,519,357,987



日本テレビにて



日本テレビより福祉車両、水戸信用金庫より車椅子が寄贈されました
他にも沢山のご支援をいただきありがとうございました

施設長 永木 一宏

鉾田サンハウスをご利用いただきありがとうございます。平成二十四年十二月二十九日には平成二十四年目を迎えることができました。三年目を迎えることになりました。大変ご不便やご迷惑をおかけしながらも、日々から温かいご支援とご協力をお願いすることができ、心より感謝を致しております。引き続き末永くご指導ご愛情を賜りますようお願い申し上げます。今年も機関誌を発行することをできました。平成二十六年度を中心とした生活の様子や表写真の活動について撮りました。施設にはこれまで撮影された沢山の写真が保管されており、事務所に家族の方につきましましては、ご家族のお申し付けいただき、ご希望の機関連続の発行をお願いいたします。また、機関連続の発行をお願いいたします。ご相談いただき、遠慮なくご連絡ください。この季刊誌が、平成二十七年度もよろしくお願い申し上げます。